

### 事務局からのお知らせ

#### 1. 木育勉強会の開催（県内3箇所で開催）

##### (1) 開催内容

- ①講演会 講師：宮崎国際大学児童教育科 准教授 守川美輪先生  
～幼児のためのおもちゃ製作～  
講師：宮崎国際大学児童教育科 准教授 山下智也先生  
～子ども主体の遊びへの大人の関わり方～
- ②こんな木のおもちゃがあったらいいな～ワークショップ

##### (2) 開催場所・日時

- 県北地区 場所：つくしんぼ保育園 延岡市塩浜町 3-1752-9  
日時：平成 28 年 9 月 8 日（木）18 時 30 分から 20 時 30 分まで
- 県央地区 場所：めぐみ保育園 宮崎市田野町乙 9391-15  
日時：平成 28 年 8 月 18 日（木）13 時から 15 時まで
- 県西地区 場所：上長飯認定こども園 都城市上長飯町 8 1-4  
日時：平成 28 年 8 月 20 日（土）13 時から 15 時まで



**お申し込み方法**  
お申し込みはお電話で。  
①希望講座・希望会場 ②氏名  
③電話番号（当日連絡がつく番号）  
宮崎県森林林業協会  
0985 (27) 7682  
※会場により  
人数制限をする場合がございます

#### 2. 第2回木育ネットワーク部会 講演会

日時：平成 28 年 9 月 3 日（土）16 時から 18 時まで  
場所：宮崎県婦人会館 3 階さくら  
講師：宮崎大学大学院教育学研究科教職実践開発専攻 准教授 竹内元 先生  
～教材づくりと木の利用－教育方法から「木育」を考える～

#### 木育イベント情報

11月までのイベントを掲載します。様々な団体・企業により主催されている木育イベントの情報です。

イベント名	開催日	場所
森の木ひろば	7月26日（火）～8月2日（火）	イオンモール宮崎 2階イオンホール (宮崎市)
もくもくパーク夏祭り	8月9日（火）～16日（火）	宮崎山形屋 新館5階大催事場 (宮崎市)
サルタフェスタ 2016	8月11日（木・祝） 山の日	高千穂町総合公園 (高千穂町)
森の木遊園地	8月13日（土）～16日（火）	宮交シティ アポロの泉 (宮崎市)
舂肥杉コレクション 2016	9月18日（日）	日南市油津多世代モール (日南市)
木育ひろば	10月15日（土）	イオン延岡ショッピングセンター 1階ユニクロ前 (延岡市)
森とのふれあい祭り	10月30日（日）	宮崎県森の科学館 宮崎県林業技術センター内 (美郷町)
森への感謝祭	11月13日（日）	宮崎中央森林組合 (宮崎市)

#### 木育ネットワーク部会とは

豊かな森林を次世代に引き継いでいくには、県民一人ひとりが、木材の良さや利用することの意義について理解と認識を深め、県民全体で県産材の地産地消に取り組むことが重要であることから、みやざき木づかい県民会議を平成 25 年 2 月に設置し、木づかい運動を進めて来ました。

木づかい運動を進める上では、子どもたちを中心に木に触れ親しみ機会や、森林・林業、木材、資源循環について分かりやすく伝える機会を創出する木育活動を進めることが非常に大切であることから、木育に積極的に取り組む企業・団体・行政等の参画による木育ネットワーク部会を設置いたしました。

#### お問い合わせ

みやざき木づかい県民会議 木育ネットワーク部会 事務局  
宮崎県森林林業協会・宮崎県山村木材振興課  
〒880-0802 宮崎市別府町 3 番 1 号 宮崎日赤会館 2F TEL：0985 (27) 7682 / FAX：0985 (25) 2398  
※次号は 11 月発行予定です。

# 木育 MOKUIKU かわら版

知ろう、使おう、広げよう、みやざきの木



木に触れて、木と遊び、木を学ぶ

Vol. 1

#### Contents

Page1	みやざき木づかい県民会議 木育ネットワーク部会が立ち上がりました
Page2	木育ネットワーク部会 木育未来ワークショップ / 木育サポーター養成講座
Page3	高校生木育デザインワークショップ
Page4	事務局からのお知らせ

## みやざき木づかい県民会議 木育ネットワーク部会が立ち上がりました

森林・林業・木材・資源循環について分かりやすく伝える木育活動を積極的に取り組む企業・団体・行政などの参画による木育ネットワーク部会を設置しました。

### 木育ネットワーク部会記念講演会

演題：熊本県における木育事業の取り組み

講師：田口 浩継 先生（熊本大学 教育学部 教授）  
日時：平成 28 年 6 月 18 日（土）15:00～16:20  
場所：宮崎県庁付属棟 201 号会議室  
参加者：53 名（関係者を含む）

#### 講演概要

##### ①3つの木育活動

- 「知る」・・・座学など
- 「触れる」・・・森に行く、木に触る、など
- 「作る」・・・木の実や木材を使った工作など

これらをバランスよく行うことが「木に親しむ」「木の良さを知る」「物の大切さを知る」の木育活動になる。

##### ②モノ作りのポイント3つ

- 手・・・手を使う、体を動かす
- ワクワク・・・楽しい気持ち、遊びたい気持ち
- レベル・・・簡単過ぎず、難し過ぎず

こういうモノ作りをすると、脳の前頭前野（思考力、創造力、やる気、集中力、学習能力、コミュニケーション能力）が活性化する。

##### ③「木」に愛着を持つ

木の良さや作ることの意義を知りモノ作りをすると「木」は無機質な材料ではなく、愛着あるものになる。

##### ④モノ作りの素材としての「木」

- 子ども、親、祖父母が取り組み、交流が生まれる

##### ⑤モノ作り教室を開催するための4つの資源

- 材料、資金、活動場所、スタッフ

熊本県での木育活動の事例等を交えながら、木育を進める意義について分かりやすい講演でした。また、当部会発足にエールをいただきました。



企業・保育園・行政など様々な立場で木育に関わる人たちのネットワーク

### 講演の途中、木を知るための実験を行いました。

#### 木は多孔質？

小さな木の棒の片側を石けん水に浸して、反対側を口にくわえて吹いてみるとできましたシャボン玉！頭では分かっていたのですが、改めて木は多孔質であることが分かりました。



木の棒を吹くと・・・

#### 熱伝導率？

金属・プラスチック・木製の3種類のスプーンを使っての実験。表面温度は全て気温と同じ27度、でも体感温度は違う！これは、木は熱を奪わないことが分かります。



3種のスプーンに触って・・・

#### 調湿作用？

上記の3種のスプーンに息を吹きかけると、金属とプラスチックはべたべた。木製はサラッ。これは、木が水蒸気を吸ったから！木造住宅は天然のエアコン付き住宅で温度や湿度調整をしてくれるのが分かります！



田口先生手作りのスピーカー

講演終了後、田口先生が作って来た携帯電話用スピーカーや木の楽器（円形木琴）を見せていただきました。とても感じよい音が鳴り響きました。参加者の皆さんも熱心に見られていました。

MOKUIKU

# 木育ネットワーク部会 木育未来ワークショップ

日 時：平成 28 年 6 月 18 日（土） 16:20 ～ 17:30  
場 所：宮崎県庁付属棟 201 号会議室  
参加者：53 名（関係者を含む）  
テーマ：木育への熱い想い、現状で困っていること、  
木育を進めるうえで大切なコト

田口先生の講演終了後は、業種が違う者で7～8人の班になり、木育未来ワークショップを実施。自己紹介をしたのちは、テーマに沿った意見交換を行い、それぞれの班の代表に発表していただきました。

**第1班** 発表者：伊藤信行氏（木育サポーター）  
物作りを通じて親子の触れ合いを深めて欲しいが、実際には木育の良さを伝え切れていない。スタッフ不足やスタッフの技術、知識の不足がある。経験を積み、素材をもっと研究しているんなバリエーションを持ちたい。

**第2班** 発表者：松河静子氏（木育サポーター）  
まずは木の良さを知ってもらいたい。活動するうえで困っていることは予算が少ないこと。また、木のおもちゃが少ないこと。自分自身が木の温かさを自信を持って人に伝えられるスキルを持ちたい。このネットワークを活用して情報交換したい。

**第3班** 発表者：田中浩史氏（木育サポーター）  
木のことを伝えたいが、子どもたちに分かりやすく正しく伝えることが難しい。そのようなツールが欲しい。木育を通じてノコギリや金槌などの危険な道具の安全な使い方を教えることができればいい。子どもは遊びながら木の良さを体感するが、親が体感できていないと感じる。大人向けのツールの開発が必要ではないか。

**第4班** 発表者：森正明氏（木育サポーター）  
「食育」と「木育」を連携して進めることで健康な子を育む食べ物や居住空間などの環境条件が整えられる可能性が高まるのもっと繋がるのが大事かと思っている。場所・人・協力が不足しており依頼を受けることが出来ないことがある。また、対象の年齢によって、言葉を選ばなければいけないのが難しい。もっと親も楽しめる木育を進めたい。



班で意見交換



班ごとに発表



田口先生から一言



楠原専務のまとめ

**第5班** 発表者：田仲真理子氏（木育サポーター）  
木の持っている素晴らしさやモノ作りの面白さを知ってもらい、物の大切さも伝えたい。スタッフや内容の充実が不足している。まずは自分たちが楽しく活動し、木の良さを伝えるためにはもっと勉強することが重要だと思う。更には実際に立っている木に見て触って感じてもらうとっと理解が深まるのでは、と感じている。

**第6班** 発表者：蛭原政志氏（県木青会）  
木のおもちゃが宮崎には少ない。もう少し手軽に手に入る木のおもちゃが欲しい。今日集まったメンバー一人ひとり悩みが違うが、想いは一緒なので、みんなで地元のものを活用したプログラムを作って意見を出し合いながらレベルを上げていければと思う。

田口先生より一言  
同じ悩みを抱えている人がいることに気付いただけでも良かった。それぞれの得意分野を持ち寄るとうまくいくことが沢山あるだろう。上手く教えるのは難しいが、まずは自分が本当に驚き「木はすごい」など体感できれば言葉が上手になくても伝わるものだと思う。今回の木育ネットワークが種になり、一気に花開く可能性を感じた。

楠原部会長のまとめ  
部会ができてこれからのスタートになる。10代から70代までのサポーターに参加していただいており、木育という言葉でこんなに色々な人が集まって、そして広がりがあるというのは本当に良いこと。皆さんの想いを基にしっかりと運営して参ります。

## 木育サポーター養成講座

講 師：山下 晃功 先生（島根大学 名誉教授）  
日 時：平成 28 年 6 月 19 日（日） 10:30 ～ 16:30  
場 所：みやぎきアートセンター 3階創作アトリエ  
参加者：23名

### 研修内容概要

- ①講義1 木育の基礎  
「木育とは何か」「木育の現状」「木育の意義」
- ②講義2 木育活動の企画・運営及び留意点
- ③グループワーク 製作から遊びまでのプログラム作り
- ④プログラム発表

木育第1人者でもある、山下先生のユーモアを交えながらの分かりやすい講座内容と、グループワークを終えた後は、宮崎県の木育サポーター認定証が手渡されました。



山下先生



グループワーク



発表



認定証授与

# 高校生木育デザインプロジェクト

デザイン活動及び木育活動に関心のある高校生を対象として地域の循環資源である木材をテーマにデザインワークショップを実施し、デザイン力の向上と木づかい教育（木育）の啓発に資するとともに、本県高校生の文化活動の健全な発展を目指すプロジェクトです。

## ①林業・ものづくり見学ツアー in 日南

日 時：平成 28 年 6 月 12 日（日） 9:30 ～ 16:15  
参加者：生徒 29 名



県内5校から集まった参加者

### ツアー内容及び時間設定

三ツ岩遺伝資源保存林（北郷町） 林業の話	9:30 ～ 10:30
小村寿太郎記念館 飴肥杉の歴史を学ぶ	11:00 ～ 11:30
企業訪問	12:30 ～ 15:00
A チーム 谷材木店、日南家具工芸社	
B チーム 日南家具工芸社、ギフトハウスマエダ	
ころころカーワークショップ	15:15 ～ 16:15

林業の話聞き、森に入り百年以上生きている飴肥杉に触れ、その後に飴肥杉の歴史を学んだことで、森を守る大切さを学べました。また、実際に木を材料としものづくりをされている企業を訪ね、お話を伺い、木の特徴を踏まえたうえで工夫しながら取り組んでいることが分かりました。最後のおもちゃ作りでは、短い時間でしたが色付けまで行い仕上げました！



林業の話（南那珂森林組合）



飴肥杉の歴史（日南市水産林政課）



企業訪問（日南家具工芸社）



企業訪問（ギフトハウスマエダ）



ころころカー見本



ころころカー作り



木に触れて、木と遊び、木を学ぶ

## ②デザインワークショップ 「木のおもちゃをデザインしよう！」

講 師：小山 裕介 氏（株式会社良品計画）  
「デザインと商品開発」  
若杉 浩一 氏（パワープレイス株式会社）  
「デザインと木と人生」  
守川 美輪 先生（宮崎国際大学 准教授）  
「子どもの発達を促すおもちゃづくり」

日 時：平成 28 年 6 月 26 日（日） 10:00 ～ 16:00  
場 所：みやぎきアートセンター 3階創作アトリエ  
参加者：生徒 29 名

講師の小山さんは、ひとつのものが「商品」になるまでの過程を。若杉さんは、自分にとってのデザインとは何か、デザインと社会のつながりについて話してくださいました。また、守川先生は子どもの発達を踏まえたおもちゃを開発されており、その説明を聞いた後は実際に作られたおもちゃを参加者で体験しました。3人の講師の話聞いた後、グループに分かれおもちゃのデザインを考えました。発表で出た案をカテゴリー別①パズル系、②音がする系、③動く系、④お水系、⑤レール系と分け、それぞれ好きなカテゴリーのおもちゃに分かれ、ブラッシュアップ作業を行い、模造紙にデザイン画を描き発表しました。最後は、三股町でおもちゃ作りをされている「けいかお」の平川さんに、プロの視点でおもちゃの講評を行っていただきました。



小山さん



若杉さん



守川先生



守川先生のおもちゃ「グラグラ」体験



デザインワークショップ



ブラッシュアップ



デザイン発表



平川さんによる講評